

しづくいしの風

高次脳機能障がいメールニュース

第32号 <2016年8月 発行>

いわてリハビリテーションセンター
高次脳機能障がい者支援普及事業

目次

1 事例報告 就労支援の例

2 家族相談会のご案内

3 編集後記

1. 事例報告 就労支援の例

高次脳機能障がいの症状は、日常生活では何とも無いのに、仕事になるとよくできないなど、限定された場面で症状があらわれることがあります。今回は3つのケースについて取り上げ、困難が生じた場面と支援の例についてご紹介しますので、参考にして頂ければと思います。



<ケース1>集中力が続かない

Aさんは、フルタイムで復職しました。午前中は何とか仕事に取り組めるのですが、午後は疲れてしまい仕事が続けられない状態でした。

支援の例・・・ Aさんは、病院に復職後の様子を伝えました。病院から、職場の方へ高次脳機能障害の症状（注意障害、易疲労）の一つであることを説明しました。そして、仕事を短時間勤務から始める事を提案しました。



<ケース2>自分に高次脳機能障がいの影響は無い①

Bさんは復職しましたが、失敗が続き職場と相談し退職しました。再就職しましたが、やはり失敗ばかりでした。

支援の例・・・ Bさんは、病院に退職したこと、退職後の再就職が上手くいかないことを相談しました。病院から、地域の障害者職業センターについて情報提供しました。見学し職業相談、評価を行い、今苦手になっている事、仕事をするとき気をつけること等を確認し、再就職のため職業準備支援を受けることにしました。



<ケース3>自分に高次脳機能障がいの影響は無い②

Cさんは復職しましたが、失敗が続き退職しました。再就職をしましたが、再就職先でも失敗ばかりで、長く続く仕事はありませんでした。

支援の例・・・ Cさんは、病院に何の仕事をしても続かないことを相談しました。発症から3年が経過していたので、再評価することにしました。入院中から現在まで、仕事に戻れば前の通り何でもできると思っていたCさんですが、自分一人で仕事を探したり、仕事を長く続けたりする事が難しいという説明を受けました。本人に福祉的就労について情報提供ましたが、本人は、一般就労を強く希望しました。そこで、一般就労を目標に、福祉的就労を利用することにしました。精神障害者福祉手帳を取得し、再び働くための準備をすることにしました。



もうすぐ秋に近づき、涼しくなりますね…

2. 家族相談会のご案内

サロン de イーハトーヴ（家族相談会）のご案内

高次脳機能障がいの方のご家族が、障がいについての学習、互いの話に耳を傾け共感し合える場です。当事者の方も一緒に参加される場合には、別室での活動を用意してくださっています。講師の先生を囲み、皆さんで気軽に困ったことや日々のことを持ち合ってみてはいかがでしょうか。

参加費：400円（飲み物、昼食代）

会場：イーハトーヴ事務所（盛岡市中野1丁目1-26 ※11月のみ北上会場です）

時間：10時～12時

問合せ・申込先：いわて脳外傷友の会イーハトーヴ Tel019-652-1137

※各回の開催3日前までに参加の連絡をする必要があります。

日時	会場	内容	講師
9月3日（土）	イーハトーヴ	フリートーク	精神科医 北畠顕浩氏 ピアサポーター 堀間幸子氏他
10月1日（土）	イーハトーヴ	障害者手帳の取得と利用 フリートーク	いわてリハビリテーションセンター 松川恵美氏 ピアサポーター 堀間幸子氏
11月20日（日）	北上市生涯学習センター	いわて版羅針盤 フリートーク	村田深雪医師、山館圭子氏、 轟木知佳氏、長谷川警二氏、 北畠顕浩医師
12月5日（土）	イーハトーヴ	障害年金の取得 フリートーク	いわてリハビリテーションセンター 松川恵美氏 柄内第二病院臨床心理士 轟木知佳氏
1月14日（土）	イーハトーヴ	フリートーク	柄内第二病院臨床心理士 轟木知佳氏 精神科医 北畠顕浩氏
2月4日（土）	イーハトーヴ	ポジティブフィードバック フリートーク	柄内第二病院主任臨床心理士 山館圭子氏 精神科医 北畠顕浩氏

◆◇いわて再発見◇◆

【鳴宿温泉 うぐいす湯の里公園】



中に屋根がけの足湯があり、かけ流しのお湯をいつでも無料で使うことができます。

目の前を流れる鳴宿川の音を聞きながら、風を感じられる心地良いひと時を過ごせますよ～

皆さん、是非とも日頃の疲れを癒しに零石町へお越し下さい！！

*鳴宿温泉観光協会の駐車場が利用できます。

3. 編集後記

前号では、就労支援機関についてご紹介し、今月号では、高次脳機能障がいの症状により、仕事の継続に支障が出てしまった方々への支援例をご紹介しました。参考にして頂けましたでしょうか。働くことは、やりがいや生きがいにつながると同時にとても大変なことですよね。これからも、高次脳機能障がいを抱えた方への支援をより身近に感じられるよう、内容を充実させていきたいと思いますので、こんなことも特集して欲しい！ということがあれば、ぜひ担当者までお知らせください。

ご意見ご感想はこれらまで メールニュース担当（佐藤・渡辺・富山・佐々木）

アドレス koujinou-shien-reha@irc.or.jp